

村のようす
(47年6月1日現在)

世帯数 1,413戸
 人口 7,221人
 男 3,529人
 女 3,692人
 面積 46.62ha



編集・発行
 福島県石川郡
 玉川村役場総務課
 印刷所
 須賀川市加治町69
 (有) 円谷印刷



稲作の近代化進む

今年の田植状況を見ると、各地方の特色として稲作の省力安定栽培、田植機の導入が目立っております。本村も昨年までは二台程度の使用でありましたが、今年は一〇数台の導入使用となり、わけても竜崎部落等については、その主力を占め、半数に近い三〇ヘクタールが稚苗田植機で植付されました。本機の出廻りによつていままでは多くの人手を要した田植作業も、今や一大改革の時代に入った感があります。

一日の植付能力は、八〇アールから一ヘクタール程度が二〜三人の人手で処理されておりますので、今後益々導入使用される事でありましょう。しかしながら、現在の経営面積からみて、個人導入は償却費の面からも相当問題があるようですので、どうしても共同による、大型育苗センター施設の導入が痛感されます。

一方米生産調整の第三年目を迎えた今日、稲作栽培については一大省力化の方向を図り、統合されて栽培していた作目、特に畑作振興にウエイトを乗せて、充分な経済効果を発揮させるよう望むところであります。

写真は竜崎部落の田植風景

六月の行事予定表

- 総務課
- 一日 県知事選挙表彰式
- 二五日 村民税第一期分納期限
- 住民課
- 上旬 民生委員協議会
- 旬 国保運営協議会
- 二五日 国民年金第一期納期限
- 六月〜七月まで 日本脳炎予防注射
- 産業課
- 七日 開パ連絡員会議
- 七日 農振促進協議会
- 一〇日 米売渡限度数量指示
- 一二日 推進委員会
- 一三日〜一九日 豚の日本脳炎予防接種
- 一三日 須釜支部子牛生産検査
- 一四日 泉支部子牛生産検査
- 企画室
- 二四日 第六回農業委員会
- 教委・公民館
- 三日〜四日 青年リーダー研修会
- 七日〜九日 さつき展
- 八日 高令者学級
- 中旬 教育委員会
- 議会事務局
- 中旬 第二回定例会

スピードの出しすぎ

事故あいつぐ一八号線

不正大麻けしの撲滅

我が村を南北に縦断する国道一八号の川辺バイパスが三月一日開通し、運転者にとっては夢のハイウェイのような立派な道路になりましたが、このためスピードを出す車が多くなり、開通以来八件の交通事故が発生してまさに交通事故多発地帯となっております。この事故発生件数の大半は道路の交差点において発生しており、国道を横断する時や国道に出る際は充分注意するように致しましょう。

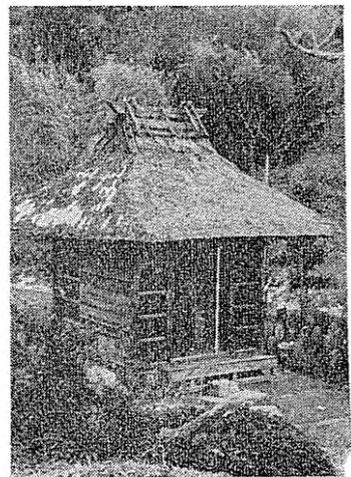
まちがいやすい印紙税

不動産売買契約書や借用証書、領収書などの文書を作ったときは印紙税がかかり、文書を作った人が、決められた額の収入印紙をはり、消印して納めます。

毎月一日は交通事故ゼロの日

私は生活教室に参加して、これからの生活の進路とも言うべき事を知りました。米生産調整に対応する手段としてビニールハウスの利用、転作の積極的な導入、又無駄の多い農家の計画的な改善、住居及び台所の改善や、毎日の生活に欠く事の出来ない、食生活の改善、又当該地域に多い病気に対する健康管理、その外農村に関するいろいろな事を知りました。短い日数でしたが本場に私にとっては意義のある四日間でした。内容的に私達主婦の集りなものですから食生活の改善にもっと時間をかけて戴きたかったと思います。最近当該地域にも次第に兼業農家が多くなり、自然に

須釜の文化財 (その七)



仲丸観音堂

大字南須釜字古宿

この堂は、もと南宿の小高い丘の上にあった。大寺城第十四代光俊公は、明君よく政治を行ない康正二年(一四五六)三月仲丸観音堂を建て、これを信仰していたが、後大寺城没落ととも、大安寺境内に移したといわれている。

柳作地蔵尊

大字南須釜字柳作

古老の語るところによると柳作地内に深い清水があり、その中に一体の地蔵尊があり部落民がこれを山の上に堂を建てて祀った。堂内には石造、木造の素朴な地蔵尊が、たくさん、安置されている。この地区の嬰兒は、この地蔵を借りて玩具として遊びやがて倍の地蔵を作ってお返しするという。

宝司頭薬師

大字北須釜字宝司頭

宝司頭は、古くは法事堂であり、この地に真言宗乗念寺があったことから当時の本尊仏としての薬師如来を安置したものとみれる。明治五年以

東福寺鐘撞堂

大字南須釜字根搦

後本堂を廃し、東光寺に移したものを昭和初期再び、現在地に移した。堂内には如来他一体が安置されている。

釣鐘は、直径七〇センチ、高さ、一、五メートル、鐘銘に明和八年(一七七二)三月八日とあり、朝夕の刻を告げ、凡人の苦悩を解き消してくれる。

五月の事故件数

(村内における交通事故)

死者 五件
負傷者 八人



生活教室にまなんで

矢吹キミ子

健康な体で働いている事になりはてには、とり返しのことかない様な病気の原因になることもあると思います。農村に多く見られる病気のほとんどが栄養欠かんと無理な労働から来ているのではないかと思

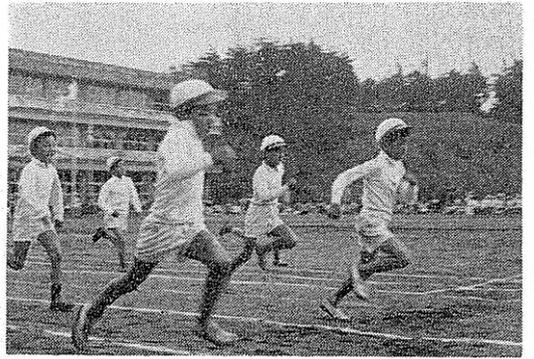
もまして健康な体を作る事はもっと大事だと思います。家族の健康管理はすべて主婦の手に握られています。その主婦が不健康であっては家族の健康を守る事は出来ないう。皆んなが健康で働いて

この経営の改善も出来、生産をあげる事も出来るのです。もし食生活によって健康が保てるとしたら、これは安易に考えている事は出来ないと思ひます。私達には常に新鮮な品がたべられると言う利点があります。ただその利点をどれだけ生かし、活用しているでしょうか。調理法を知らない為に、せっかくの新鮮さを生かす事が出来なかつたり、食あきて捨ててしまふ様な事は多くあると思います。現在の請物価の値上りは、私達にも頭の痛い事です。経済的にも栄養のある物を買いたいので、食せんに出す事は困難です。特に体力の消耗する農繁期などは忙しさから、つい食

事が簡単になりがちです。この様な事を少しでも少なくする為に身近にある材料で少ない費用での食生活の改善、これ等全体を通じて今回学んだ、かかずの知識今後充分活かしてゆき度いと思っております。今回村及び須釜農協の共催で行った事業でありましたが、このように限られた人数でなく、誰もが気軽に参加出来る集りを数多く持つて戴き度いと思ひます。私達をとりまく諸問題は山積されております時代にはマツチした今後の御指導を積極的にお願いをし、今回の石川普及所職員員の御助言に感謝を申し上げ、つたない私の発表にかえさせて戴きます。

白かて 赤かて — 玉川一小で運動会 —

若あゆのようにピチピチとみんな元気いっぱい、玉川一小の運動会は、那須の山々がひと目で見える同校の校庭で、去る5月16日行なわれました。



回覧板を早く 廻しましょう

予定の期日が雨でのび、農家の忙しい時期に入ったせいか、観衆は今までより少なかったようでしたが、それでも一生懸命走る児童たちにかんに声援をおくるなど、大変にぎやかな運動会の日でした。期限の切れた回覧板等があるって困ってしまうなどという村民からの声があります。皆さん回覧板が回って来たならばすぐに見てまた次の家へ

東南アジアの旅 (4)

溝井 一郎

ジャングルの黒ずむ地帯過ぎたれば赤黄青の街光りたり
皆青き森の地帯の点在は赤き地肌の光りなるべし
赤青黄みな濃紺色に変わりゆき飛行高度は八千米越ゆ
海も陸も雲海のためにさえぎられ太陽の光が強烈
羽の上をかすめる雲の早き流れ吾が乗る飛行機動ようはげし

炬燵別

拙 郎

鳴き移る櫓の尾長や明け易し
垣路ゆきたらの芽採の老母に逢ふ
子と見をり古きのぼりの鐘旭ゆれり
木の茅風炬燵机と別れけり
安達太良の頂き見ええず花の雨
花木解や古りし土塀のなほのこり
櫓の茅や金売吉次の墓かしぎ
石に挑む石工の影を蜥蜴としかひすぎ

夏です

食中毒に注意を

へすぐ回すようにひとりひとりと板等をなくすようにいたしまし
りが注意し期限の切れた回覧 しょう。

食中毒や伝染病の発生する季節となりました。皆んな健康で幸わせに過ごすため次のことを守りましょう。
一、手を洗う習慣をつけよう
二、炊事前、食事前、仕事後や用便後は特に手をあらわす。
三、梅雨時から夏にかけて古い物は捨てて新鮮な物を食べよう。
四、加工食品の生物は食べず必ず熱を加えて食べよう。残った食べ物は冷蔵庫に入れよう。(十度以下に保存すること)
五、台所は整理整頓し食器類・調理用具は洗滌してかわら使用しよう。
六、生水を飲んだり、暴飲暴食はやめよう。
七、夜が短かいので早や寝よう。

待望の学校プールができます

河川も汚れ、池沼での水遊びも危ない、暑い暑い夏がやって来る、どうしよう!と、夏が来るたびに安全に泳いだり水遊びのできる「プールが欲しい」と待ち望んだプールが玉川第一小学校の広い校庭の一隅に「泉小中学校プール」という名称で建設されることになりました。
プールは長さ二十五米、巾

寿

お誕生おめでとう
ございます
(五月分の出生届書から)

川 部 落	須 藤 氏 名	出生児氏名	世帯主名	続柄
中 川 辺	須 藤 金 一	清 重 子	金 重	孫
南 須 釜	高 須 美 子	清 三 男	菊 三 男	〃
北 須 釜	遠 藤 清 一	清 三 男	清 三 男	〃
吉 有 賀	榊 枝 信 彦	清 兼 美	清 兼 美	〃

ご逝去お悔み申し上げます

(五月分の死亡届書から)
北 須 落 死亡者氏名 年令 世帯主名 続柄
吉 北 須 釜 野 口 マサ子 (66) 庄之丞 妻
有 賀 光 広 (82) 金 次 祖父

住宅附近の豚舎 についてお願い

最近、豚景気の波に乗って養豚農家は豚舎の新築や増築に力を入れて来て所かまわず場所きらわらず建てているよう見受けられます。私の家も例外でなく、前方五メートル、西側二メートルの二カ所に豚舎があり悪臭、騒音、蚊、蠅等で窓も開けられず、毎日毎日が生きた気持になれない状態です。このようなことはいたる所にあり数多くの住民が悩まされていることと思われまますので現在ある豚舎からは悪臭や害虫を発生させないよう香料入りの殺虫剤など薬剤を適時散布していただきたいことと、こんご新築される時は近隣住宅と話し合ってから建築されるよう猛省をうながし、皆んなが快適な生活を送れるようお願いいたします。

(悩める村民)